



～ 2021(令和3)年2月20日(土) ～

第35回 Web 滋賀医科大学 循環器内科・呼吸器内科 湖筍会総会に参加して

湖筍会 会長補佐 伊藤 誠

皆様こんにちは。JR 草津駅西口で約6年前に開業しました伊藤です。ご無沙汰しております。滋賀医大循環器内科在職中は、大変お世話になり、ありがとうございました。開業以後も循環器内科教授中川先生、呼吸器内科教授中野先生にはいろいろと教えて頂いており感謝申し上げます。また、教室員の先生方には、面倒な患者さんを紹介しても、いつも快く引き受けて頂き大変助かっております。この場をお借りして皆様に御礼申し上げます。

さて、今回はコロナ禍でもあり例年と異なりWeb開催ということでしたが、参加者も90名以上であり、ホテルで開催していたときよりむしろ多いくらいではなかったかと思います。特にトラブルなく開催できましたのは、事前準備して頂いた秘書室の皆様や、司会・進行でお骨折り頂いたスタッフの方々のお陰であると、同門会会長補佐として深謝致します。

開会の挨拶で、中川教授からは循環器内科に新しいメンバーとして心エコーを専門とされている林篤志先生、腫瘍循環器の塩山渉先生が着任されたことが報告されました。従来から循環器内科ではインターベンションやカテーテルアブレーションなど侵襲的な方法が主であり、CTやMRIなどの画像診断を除き、どちらかというと非侵襲的な評価方法に弱い面がありましたが、産業医科大学から来られた林先生には最新の心エコー研究成果を踏まえて学生、研修医やレジデントの指導の他にも、我々同門会員にいろいろと教えて頂きたいと思っております。着任挨拶でも、何でも気軽に聞いて欲しいとのことでしたので、また相談させて頂くことがあると思います。宜しく願い致します。塩山先生は大阪府立成人病センターで腫瘍循環器を専門にしてこられたそうで、滋賀医大ではこの分野は全く新しい部門です。最近では新しい抗がん剤が続々と出ており、心血管機能や凝固機能などに障害を来すものがあると聞いております。私のクリニックのすぐ近所の乳がん治療を専門にしている施設から時々患者さんの紹介を受けておりますので、どういう点に留意すべきかをお聞かせ願えれば幸いです。循環器の新しい分野を作ろうという中川教授のご尽力に感謝するとともに、両先生の今後のご活躍を期待しております。

大学は人事が流動的であるということは宿命ですが、新しい先生の入替わりに、なじみの深い先生が去られることとなります。特に山本孝先生には、私が循環器内科におりましたとき以降、開業してからもPCIやTAVI症例で大変お世話になっております。また、若手教室員を熱心に指導し育成して頂いており、感謝してもきれないほどです。患者さんからの評判も良く、まさに理想的な循環器内科医として今後も教室を引っ張っていただけるものと思っておりました。しかし、今回、甲賀病院に移動されるとお聞きし正直驚きました。甲賀病院に赴任後も引き続きインターベンションに関して滋賀県をリードして頂けるよう今後のご活躍を期待しております。

呼吸器内科の中野教授からは昨年流行している新型コロナウイルス感染症の診療のため、呼吸器病棟がコロナ病棟に変わってしまったりして、通常の呼吸器診療ができない状態が続いていることや、感染制御部部長として御苦労なっておられるなど超多忙な中、場所を変えカンファレン

スなどもこなされているお話を拝聴し感心致しました。また、若手の工藤先生も加われ、その他にも毎年コンスタントに呼吸器内科志望医が入局しておられるのは呼吸器内科の先生方の熱心な指導の賜と思います。今後も滋賀県の呼吸器診療を引っ張って頂けるものと確信しております。

新入医局員の紹介では、循環器内科、呼吸器内科とも数名が入局されましたが、皆さん若々しく聡明な先生方であり、今後循環器内科・呼吸器内科を支えて頂けるものと期待しております。

次に、関連病院紹介では 東近江総合医療センター呼吸器科の和田広先生からは、新型コロナ感染患者の治療で成果を上げている点や、結核診療につき紹介があり、地域医療に貢献しておられ頼もしく思いました。草津総合病院の和田厚幸先生にはクリニックから近いこともあり、循環器疾患を含め非常に多くの患者を紹介し、大層助けて頂いております。昨年、急性期治療病院と、慢性期診療を行う淡海ふれあい病院とに分離され、本院では専門的な治療を行うようになり更に脱皮していく病院の姿を見せて頂きました。心不全治療薬の臨床試験などにも積極的に参加されている姿にいつも感銘をうけております。

クリニック紹介では、さつき診療所、ながおか医院、おぐまファミリークリニック、浜本内科医院から発表がありましたが、それぞれの先生方は、コ・メディカルと連携して熱心に地域医療を行っておられ、教えられる面が多々ありました。

呼吸器内科では、湖笥会の名付け親でもある長尾先生がいつのまにか島根大学に異動されていたことを知りました。長尾先生のブログは特に有名で私も時々拝見しておりましたが、いろいろな著書もあり学生さんにも人気ただけに滋賀医大呼吸器内科を去られてことは本当に惜しいです。出雲でも教育にがんばって欲しいです。

小川先生から保健管理センターの紹介がありましたが、私の産業医としての浅い経験から学生その他、2,000 人を超える職員の健康管理は大変だと思います。新しく呼吸器内科から松尾先生が加わるようになったと挨拶もございましたが、うつ病や適応障害などの精神疾患もありご苦労も多いのではないかと思います。

JCHO 滋賀病院救急部長がビデオ挨拶で、滋賀病院を辞められ沖縄県名護市の北部病院に勤務されると聞き、またびっくりしています。山岡先生とは滋賀医科大学や JCHO 滋賀病院でも一緒に仕事をした仲間で良く存じ上げていましたが、60 歳になり沖縄県で心機一転初心に返って診療されるその決意はすごいことだと思っています。幸い、赴任先の病院長が滋賀医科大学出身とのことであまりやっつけられるものと思います。山岡先生は一時スキューバダイビングに凝っておられたことがあり、オーストラリアのグレートバリアリーフが大変きれいで感動したという話を伺ったことがあります。沖縄に行かれたのも、またスキューバを楽しみたいのかなと邪推しております。

最後に、すでに新型コロナワクチン接種が始まっており、今後国民の間にワクチン接種が普及すれば、次第にコロナ感染が収まってくるのではないかと期待されます。Web 同門会も面白いですが、来年の湖笥会は従来通り face to face で開催できることと、循環器内科、呼吸器内科ならびに湖笥会会員の益々のご発展とご多幸を祈念致します。

伊藤内科クリニック 伊藤 誠

